

研究主題 「令和の日本型教育」を担う教師に求められる教育の方法及び技術 ～子供の資質能力育成・定着を目指して～

I 団体の概要

東京都小学校教育技術・指導法研究会は令和5年4月1日に発足した研究会である。東京都の小学校における教師に求められる資質・能力である「教育の方法及び技術」に関する事項の向上を目指し、研究の交流と振興を図ることを目的とする。

II 研究の目的

「令和型の日本型教育」を担う教師に求められている資質能力として「教育の方法及び技術」がある。

文部科学省中央教育審議会義務教育特別部会

「優れた教師が備えるべき資質・条件」教師が身に付けておく資質

- (1) 教材研究
- (2) 年間、単元、毎時間の計画、教材づくり
- (3) 指導方法・指導技術**
- (4) 黒板の書き方、発問や指示の出し方、集団の動かし方
- (5) 見取りと評価
- (6) テストづくり、丸付け、ノート指導

東京都の全ての教員の資質能力向上に繋がるよう、研究の交流と振興を図ることを目的としている。そして、その成果を東京都の全ての子供たちの資質能力向上に繋げるために、東京都教育委員会からの認定を受け活動している。

目的を達成するために、定期的に研修会や学習会を開催し、学び続けていける場を提供していく。

III 研究の方法

(1) 研究の進め方

- ① 時代が移り変わるとともに社会や児童像も変化し、新しい教育課題が生まれる。
- ② 教育課題を解決するためには、普段の授業などの教育活動だけでは困難である。
- ③ 問題点を明確にし、具体的な解決策を模索・提案し、**一般化により多くの教師に役立てる**ことで課題の解決を図る研究、研修を行う。

(2) 教育の方法及び技術

どうやって学級を開くのか、どうやって授業を組み立てるのか、どうやって特別な支援が必要な子供に対応するのか。子供にとって価値ある教師になるために必要不可欠な**技術**を、子供のいる教室で使いこなせる**技能**にする。

(3) 教育の方法及び技術の3つの段階「守破離」

① 守【知識・技能期】

教育の方法及び技術の知識をインプットする。
教育の方法及び技術の知識をアウトプットする。

知識から技能へ⇒教育の方法及び技術の獲得

② 破【思考・判断・表現期】

身に付けた教育の方法及び技術を場面に応じて使いこなすことができる。
授業の中で実践を重ね自分の教育の方法及び技術の引き出しを増やしていく。

教育の方法及び技術を全ての教育活動に繋げていく
⇒専門性の積み上げ

③ 離【主体的な人間性の涵養期】

教育の方法及び技術を技能として次の世代の教員に伝えることができる。
多くの教員に役立つ教育の方法及び技術を一般化して広く伝えることができる。

IV 研究の内容

(1) 教育技術の重要性

5月24日、立川市立第七小学校体育館にて、本会員が行った模擬授業に対し、玉川大学教職大学院教授 谷和樹先生から、指示発問や子供の対応といった授業技術や、対応が困難な子に対する心構え、原則を指導していただいた。

子供たちの様々な問題行動に対応できる**安定した授業力**、学級経営力は教師にとって必須の力である。最もよくないのは、対症療法的に必死になってしまうことだ。そのような授業の技術、授業の技能、授業の原則を、まずは**学んでいく努力**が必要である。

また、教師としての力を高めていくには、学校の仕事を一流にできるようになることはもちろん、公的な研修で学ぶことが重要となる。それ以外にも、**主体的に自ら学ぶ**ことも大切である。



そして、何よりも重要なのが、「**自主的な勉強会**」で学ぶことである。一緒に時間を共有して、レポートを持ち寄り、模擬授業を見合ったり、月に一回でも、定期的にそのようなことができる**仲間がいる**ことが、最も効果がある勉強法となる。

(2) 外国語の教育技術・指導方法

11月29日、同体育館にて、外国語を専門として学ぶ本会員3名が模擬授業を行った。玉川大学大学院名誉教授 佐藤久美子先生からは、「定着させる工夫と指導」をテーマに、以下のご指導をいただいた。

①自分が話した英語が通じた喜び、やり取りができた喜びを感じさせるように、より自然な会話を練習させるとよい。(Excuse me や Yes/No を加えて練習) これが**言語活動**である。自然な会話を目指すことは、導入にも効果的である。



②話したい内容(単語)が教科書にない場合、**辞書で調べる習慣**を付けるとよい。これが言語活動につながる。

V 年間計画

(1) 5月24日(水)

○会員総会 ○講演「教育技術の重要性」
講師：玉川大学教職大学院教授 谷 和樹 先生

(2) 8月22日(火)

○講演会「教育技術・指導方法」
講師：関西外国語大学教授 松崎 力 先生
日本文化大学専任講師 木村 重夫 先生
東京福祉大学特任教授 駒井 隆治 先生

(3) 11月29日(水)

○講演会「外国語の教育技術・指導方法」
講師：玉川大学大学院教育学研究科
(教職専攻)名誉教授 佐藤 久美子 先生

(4) 12月9日(土)

○講演会「指導技術の身に付け方」
講師：東京都公立学校指導教諭 千葉 雄二 先生

(5) 1月31日(水)

○講演会 講師：NPO 教授法創造研究所代表 椿原 正和 先生

*この他に毎月、立川市立第七小学校にて勉強会を開催中

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都小学校教育技術・指導方法研究会	
代表者	所属	立川市立第七小学校	
	職氏名	校長 島村 雄次郎	
	連絡先	042-523-5348	
事務局	所属	練馬区立立野小学校	
	職氏名	副校長 木村 順子	
	連絡先	03-3930-9101	
団体ホームページ	URL	https://toshogiken.jimdosi.com/	二次元コード
			